

福岡東在宅ケアネットワーク・東区医師会・東区保健福祉センター共催

平成27年度 第2回(通算第10回)症例検討会

テーマ：病院自宅以外での看取りの場について～グループホームや老人ホーム等での事例検討～

日 時：平成28年3月23日(水) 場 所：福岡リーセントホテル

各職種別感想などの集計

医師

- ・分からないことが他職種の人に聞くことができ、役に立つと思います。
- ・GHを老人ホームのちがいを不勉強だったので、大変勉強になりました。
- ・在宅医療をやる身で、他職種のニーズ等を小グループでシェアできたことが参考になりました。施設への看取りのガイド等より詳細にしていく必要があると感じています。
- ・多職種で活発な議論ができて、勉強になりました。制度上の問題についても考えるいい機会となりました。症例は例で、もっとディスカッションの時間がとれたらよかったです。ディスカッションが面白かったので。ご準備、運営、ありがとうございました。
- ・施設での胃瘻管理や見取りについて、不安はありながらも情報を共有しながら多職種で家族とケアしていく姿勢、経験を聞くことができよかった。

歯科医師

- ・今後もこのような多職種での症例検討会を継続してください。
- ・今後、高齢化社会が進むなかで大きな問題の一つだと思いました。グループホームについて想像していたものと違いがあり勉強になりました。

薬剤師

- ・在宅訪問自体も未経験であり、ましてや看取りは普段の業務でも全く立ち会うこともなく、事例を読んだだけでも知らないことばかり。施設の若いスタッフの気持ちとほとんど変わらない状況でした。GWの中で、実際日常的に看取りを行っておられるDrやNrsの経験談又施設スタッフの不安などが聞けてとても勉強になりました。

看護師

- ・クリニック勤務なので経験がなかったので、今回参加させて頂いてとても勉強になりました。今後 もっと考えていかなくはない問題です。
- ・今回の症例での看取りについて、施設内ではまだまだ課題がある事が分かったが、今後改善していくポイントや活用していくと良い点も分かり大変良かった。
- ・むづかしい
- ・グループ内で訪問看護師は私1人だったので活発に意見を言えたり、また聞く事ができた。時間がとても短かった。
- ・とても役立つ話し合いができた。今後の参考にしたい。

- ・新たな知見が得・新たな知見が得られました。ありがとうございました。
- ・施設によって理念やスキルの違いを改めて感じスタッフの経験・学習・他職種との話し合い等で方向性を決めていくことが必要だと思いました。キーパーソンを決めておくことも大事かと思います。
- ・それぞれ悩んでいる事は同じだと思いました。
- ・施設での看取りというのは 本当に難しく今日明日で解決できるものではありませんが草の根活動で取り組んでいけたらと思います。
- ・病院で看護師をしています介護施設での看取りをお聞きすることができ看護師として何ができるのかと考える機会ができました。
- ・色々な職種の方の話が聞けてとても勉強になりました。知らない事も多くありもっと勉強していきたいと思います。
- ・施設のことはわからなかったので現状を教えてもらい大変なことがわかった。
- ・施設での看取りについて医療職ではない介護職が担うことが多いので協力して対応することが大切であると思った。
- ・いろんな方と話ができて良かった。先生方の本音も聞けて良かった。
- ・施設での看取りについてスタッフの教育が必要であると感じた。家族・本人の意向が大切にできるように他職種がそれぞれ看取りについて考え連携を図ることが大事だと思います。
- ・他職種と一緒に話し合うことで今回自宅施設での終末を迎える人が増えると思うがどう考えていくべきか学ぶことができた。
- ・病院勤務の立場にいるが 施設に戻ったあとの利用者さん・家族の思い、職員の思いを少し見ることができた。制度上の問題だが、施設で一人で急変に立ち会うのはかなりの勇気がいると思う。勉強会を行ってスキルを積むことはとても有意義なことだと考える。
- ・施設側が使える資源を十分理解されていない様子。老健以外では訪問看護を上手に活用する事で、心強く看取りを導入できるようになるのでは？。医師も上手く訪問すると在宅治療もやりやすくなるし施設へも看取りを勧められるようになると思う。
- ・毎回色々な方とざっくばらんにはなしができるこの検討会を楽しみにしています。グループの中に医師が入っているのがすごくありがたいです。普段はドクターと話はできませんので。
- ・制度上の問題で、施設での医療行為ができないことがよく分かりました。超高齢化社会をサポートしていく制度を考えていく必要があること、介護職員のレベルアップのための研修も構築していく必要がある。
- ・参加者にCWが少なく、実際に現在CWとして活躍している方の声をもう少し積極的に聞きたかった。医療専門職の多い中、発言は難しいかもしれないが、今後も生活の基盤を支えるCWの課題をディスカッションしてほしい。ディスカッション中で色々な情報交換もでき、お互いに共有できるケアの方法や声のかけあいが安心できるものであることも認識でき、より一層の関わりに有効性を感じた。その方の考え方や困ったことも知れてよかった。

ケアマネ

- ・地域で看取りの経験を積まれた方にボランティアとして活動していく
- ・地域で看取りをしていく輪が広げられる可能性
- ・死への教育を共有することで看取りを行う意味や人として尊厳ある最期を迎えることへの意義を多くの方が理解することが出来れば病院・施設というくくりではなく地域で支える介護、地域の介護力・看取りができていくことは夢でなくなるかと思える検討会でした。ありがとうございました。
- ・多職種によるディスカッションはとても有意義です。Drの役割、Nsの役割、介護職の役割、施設としての役割等様々な立場からの話が聞けて、本当に参考になりました。今後の仕事に活かしていきたいと思います。
- ・もっと医療的なことも聴きたい。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても有意義な会でした。ありがとうございました。普段聞けない(訪問系)事が聞けて良かったです。
- ・意見交換ができてよかった。
- ・色々な施設の方の話しを聞く事ができ大変勉強になりました。有難うございました。
- ・看取りケアに向けて職員に対して何をしていくべきか家族とどんな絆をつくっていくのかなど、実践のヒントになる意見をたくさんうかがうことができました。とてもやる気がわいてきました。
- ・医療方針と家族の気持ち
- ・入院できなくなる高齢者とても考えさせられました。次回も参加したいと思っています。ありがとうございました。
- ・情報が多く役立てたい。
- ・制度上の問題 介護士側の問題(死への受容)がありますので家族・本人の気持ちをストレートに叶えるためにクリアすべき問題はありますが まだ見えないものがたくさんあります。経験をつんで、可視化していきたいと思います。本日はありがとうございました。
- ・もっと時間が必要だと思います。在宅での看取りについても行ってほしい。各グループから出た意見をまとめた物がほしい。会員に入りたいが紹介が必要で入れない。
- ・色々な職種の方の意見を聞く事ができてよかった。

介護福祉士

- ・それぞれの職種での連携が大切だと思いました。
- ・スタッフのレベルアップ・研修を実施して欲しい。
- ・制度の問題改善して欲しい。
- ・死に対する勉強、本人・家族とのカンファレンス・何度となく重ねていく事が重要である。医師・看護師・介護士・連携して情報の共有し続けてゆく。救急車を呼ぶのかどうか？
- ・他職種の方のいろいろな意見をお聞きすることができ、とっても良かったです。
- ・看取りに関して不安がたくさんありますが、介護職としてできることをみなでよく話し合い、今度は取り組みたいと思いました。
- ・現場だけでなく、それを取り巻く環境、システム、制度などの視点で話が聞けたのでと

でも勉強になりました。今後の看取りニーズへの対応のよい参考になりました。

- ・他職種の方々と検討する事ができ、とても勉強になりました。日々の業務に追われて、なかなか勉強できていないなど実感しました。
- ・今後は積極的に研修会などに参加し、知識の向上につなげていければと思います。
- ・看取り等の知識が足りないので周りの人に聞いたり、もちろん自分でも努力して覚えませんが、セミナーに参加出来て他の方の話を聞き、色んな発見があり勉強になりました。
- ・多職種から、色々な話がきけて、色々な視点をみる事ができた。

ソーシャルワーカー

- ・本人、家族の気持ちを支えられる状況や環境づくりが大切。情報提供を行い、家族や本人を支援していく立場としてはきちんと現場をやるこういった勉強会が大変貴重であり、大切な場だと感じた。
- ・職種ごとで共通のテーマについて話をし、他のグループにまじって再度話をするというスタイルで一度話してみたい。(ワールドカフェのようなスタイル)
- ・施設での看取り、個別に施設との情報交換が必要に思いました。家族は揺れるということやスタッフの教育など様々な意見がきけました。ありがとうございました。
- ・退院後の患者様の施設での状況、最後をどう迎えるのかよく理解でき勉強になった。次回も参加したい。

施設職員

- ・色々な職種が集まり 意見を聞けたことはとても貴重な機会でした。看取りに関して、家族との連携、情報の共有したりと今後の課題がみえました。
- ・次回も参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・看取りに関する制度面をあまり知らないの知識をもっと増やしたいと思いました。
- ・これから看取りをやっていく上で大変ためになるお話を聞くことができました。
- ・家族とどんな話し合いが必要なのか準備しておく資料・マニュアル等簡単な資料があれば。

理学療法士

- ・他施設の方が どのような対応をしているかなど 話を聞くことが出来て良かった。ぜひ色々な症例でやってほしい。
- ・看取りはこれからの課題。でも今はまだ避けられるのも現状で、見て見ぬふり、うまく避けているというのも現状多いと思います。制度上の整理を行政に願います。
- ・顔を合わせる事が重要だと思います。次回もぜひよろしくお願いします。

作業療法士

- ・今後、グループや施設の看取りも多くなっていくため、制度的な事など再認識ができました。又、多職種の方から、自分の知らない現状を理解できました。ありがとうございました。

社会福祉士

・私自身は看取りの経験はないのですが今回の症例検討会に参加させていただいた中で今後意識して取り組むべき課題であると思った。勉強会や学びの場へ参加して今後も勉強させていただきたいと思う。

・デスカンファレンスの有効性が感じとれた。

施設内で振り返りができるよう体制を整えていきたい。

・死亡診断書と死体検案書のちがいなど参考になった。看護師配置について勉強になった。

・これから単身世帯が増加するなかで家族のいない中での看取りが病院だけでなく施設等での対応となる可能性が高く広く住民の方々にこの状況を啓発していくことが益々重要になると感じました。ありがとうございました。

弁護士

・これからも、このような場の提供をお願いします。

・医療職と介護職（弁護士も）との連携が、うまくいくようにこのような場がとても重要だと思いました。会場設営等大変お世話になりました。

司法書士

・実際に介護や医療の現場で活躍されている方と学ぶことで、とても勉強になりました。

その他

・大変勉強になりました。貴重な意見を聞きこれからの看取りの参考にしたいと思います。

・場数を踏み経験を重ねる事の大切さを学びました。ありがとうございます。

・介護職員もプロ意識をもって専門性を高めていくべきだと思いました。制度が作られてまだまだ月日も経っておらず未熟な部分が多いと思われます。医・介護連携多職種連携を強くして現場からの声で制度を再構築されていければ良いと感じました。

・グループディスカッションだったため他職種・他施設の方のお話が伺えてとても勉強になりました。